

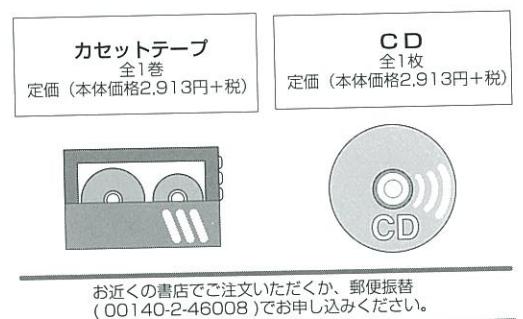
主語と動詞が決まれば英作文は書けるように思われます。さらに、ある日本語の表現に相応しい英語の表現がいくつかあり、それらの表現のうちのひとつを頭の中に刻み込んでおくなれば、英語で表現できるようになります。また、日本語の文構造と英語の文構造にも相違があり、このことを理解をしておくなれば、自分の言いたいことを英語で表現できるようになります。

本書「新・語順が身につく英作文」は、上に述べた3つのことを確認しながら英作文の演習を行い、日常生活の中で起こる事柄を学生諸君が英語で書けるようになることを目的として作成されたものです。つまり、これまで学習してきた英語の基礎的な文法事項を再確認しながら、日本語で思ったり感じたりする日常の様々な事柄を学生諸君が英語で表現できるようになることを目指しています。

本書の中で採り上げられている文法事項および英作文問題はひじょうに基本的なものばかりです。しかし、英作文問題の提示方式に工夫を施してあります。文法事項の説明の中で挙げられている基本文、そしてその基本文を用いての練習問題へと、英作文問題を学習していくにつれて英文の語彙数がだんだんと多くなっています。本書の英作文問題の演習を一つ一つ行っていくにつれて、学生諸君は次第に語彙数が多い文が書けるようになっています。これは、既刊書「語順が身につく英作文」と同じ形式です。しかし本書では、既刊書とは異なり、練習問題に3段階の問題提示方式を用いて、学生諸君の理解がいっそう深まるような配慮がされています。

本書は、12章から成っています。さらに各章は、「基礎的な文法事項」そして「練習問題」の2部構成になっています。

1. 「基礎的な文法事項」：英作文問題を行うための基礎的な文法事項のみを採り上げて、簡単な説明をし、「基本文」として英作文に典型的に使われるものを提示しました。
2. 「練習問題」：「基礎的な文法事項」の中で示されている「基本文」を用いて、そして主語(S)および動詞(V)を明示した「例文」を参考にして、英作文の演習を行います。ここでは、英語の語順と文構造の理解と確認のために、「英語の文構造に合わせて日本語を配列し直した図式」が提示されていて、いくつかの日本語の語句を空所の中に書き込みます。(この図式では、( )で主語と述語が表示されています。また、↑は語句の直接的な修飾関係を、△は語句の省略を示しています。) 練習問題は、3段階の問題提示方式になっています。Step 1 および Step 2 では、書くべき英文のうちの何箇所かが空所になっていて、その空所に単語や語句を書き入れる「穴埋め記述方式」になっています。Step 1 と Step 2 とを比べると、Step 1 の方がやや易しくなっており、主語と動詞を明らかにするために、(S)および(V)が「英語の文構造に合わせて日本語を配列し直した図式」の中に示されています。Step 3 では、Step 1 と Step 2 の応用として、「全文記述方式」が採られています。



本書での英作文問題を演習することによって、学生諸君は英作文に対して抱いている「英作文はむずかしい」という気持ちがだんだんと少なくなり、「英語で何とか書ける」という手応えを感じてくれるのではないかと思います。そしてさらに、「英作文ができる」という自信を抱いてくれればと、編著者は心から念じています。

本書を出版するに当たって、朝日出版社の佐藤治彦氏には、その企画からのすべてにわたってたいへんお世話になりました。衷心より感謝とお礼を申し上げます。

2005年8月  
編著者

## CONTENTS

---

### はしがき

<b>1</b>	<b>5つの基本文型を中心とした問題</b>	1
<b>2</b>	<b>助動詞</b>	10
<b>3</b>	<b>完了時制</b>	22
<b>4</b>	<b>進行形</b>	33
<b>5</b>	<b>受動態</b>	41
<b>6</b>	<b>比較</b>	52
<b>7</b>	<b>不定詞（to不定詞）</b>	64
<b>8</b>	<b>分詞（形容詞的用法）</b>	77
<b>9</b>	<b>動名詞</b>	88
<b>10</b>	<b>関係詞（関係代名詞）</b>	95
<b>11</b>	<b>関係詞（関係副詞）</b>	108
<b>12</b>	<b>接続詞</b>	117

英文は、どんなに構造が複雑であるにしても、その文の構成要素から見ると、次に5つの基本文型にまとめられるであろう。

### 1. 第1文型 S + V [Vは完全自動詞]

**基本文1** The sun rises. (太陽は昇る。)

- ▶ 完全自動詞は、運動や存在を表す動詞が主である。しばしば、副詞(句)を伴う。

### 2. 第2文型 S + V + C [Vは不完全自動詞、Cは補語]

**基本文2** His father is famous. (彼の父は有名です。)

- ▶ 不完全自動詞は、be動詞、seem、get、become、appearなど。この文型では、[S = C] (基本文2では、[his father = famous]) の関係が見られる。補語(C)には、名詞、形容詞またはそれらに相当する語句がくる。

### 3. 第3文型 S + V + O [Vは完全他動詞、Oは目的語]

**基本文3** Mary studies Japanese. (メアリーは、日本語を勉強する。)

- ▶ この文型の完全他動詞は、eat、see、have、takeなど。このような種類の動詞が、最も多くある。目的語(O)には、名詞または名詞相当語句がくる。

### 4. 第4文型 S + V + IO + DO [Vは完全他動詞、IOは間接目的語、DOは直接目的語]

**基本文4** He gave her a flower. (彼は、彼女に花を一本あげた。)

- ▶ この文型の完全他動詞は、give、teach、showなど。授与動詞と呼ばれる。一般的に、間接目的語(IO)は「～に」に当たる目的語、直接目的語は(DO)は「～を」に当たる目的語である。[IO ≠ DO] (基本文4では、[her ≠ a flower]) この2つの目的語には、それぞれ名詞または名詞相当語句がくる。

### 5. 第5文型 S + V + O + C [Vは不完全他動詞、Oは目的語、Cは補語]

**基本文5** They call him Ron. (彼らは、彼をロンと呼ぶ。)

- ▶ 不完全他動詞は、think、find、callなど。この文型では、[O = C] (基本文5では、[him = Ron]) の関係が見られる。目的語(O)には、名詞または名詞相当語句がくる。補語(C)には、名詞、形容詞またはそれらに相当する語句がくる。

## 練習問題 1 (基本文 1 を用いて)

Track 3

空所に日本語の語句を記入して英語の文構造を考え、さらに与えられている単語を並べかえて、日本語の文を英語に直しましょう。

例 私は、ゆっくり歩く。

⇒ (私は) + (歩く) + ゆっくり.  
(S) (V)

→ I walk slowly.

(S) (V)  
[ I, slowly, walk ]

## Step 1

1. キャロルは昨日、そこに行った。

( ) + ( ) + そこに + 昨日.  
(S) (V)

there yesterday.

Carol, there, went, yesterday

## Step 2

2. 私は毎日、自分の部屋で勉強する。

( ) + ( ) + 自分の部屋で + 毎日.

in my every day.

day, every, I, in, my, room, study

## Step 3

3. むこうのあの丘の上に、小さな古い教会がある。

(a) ( ) + ( ) + あの丘の上に.  
↑  
むこうの

a, church, hill, is, old, on, over, small, that, there

(b) There + ( ) + ( ) + あの丘の上に.  
↑  
むこうの

(there+V+S を用いる)

a, church, hill, is, old, on, over, small, that, there, there

4. ジムとスザンは、昨日一日中、郊外のそのテーマパークにいた。

( ) + (いた) + \_\_\_\_\_ + 一日中 + \_\_\_\_\_.  
↑  
郊外の

all, and, day, in, in, Jim, long, suburbs, Susan, the, the, theme park, were, yesterday

## 練習問題 2 (基本文 2 を用いて)

Track 4

空所に日本語の語句を記入して英語の文構造を考え、さらに与えられている単語を並べかえて、日本語の文を英語に直しましょう。

例 彼女の父は、弁護士です。

⇒ (彼女の父は) + (です) + 弁護士.  
(S) (V) (C)

→ Her father is a lawyer.

(S) (V) (C)  
[ a, father, her, is, lawyer ]

## Step 1

1. 青空が、突然に曇った。

(S) + (~になった) + \_\_\_\_\_ + 突然に.  
(S) (V) (C)

The became suddenly.

began, blue, cloudy, sky, suddenly, the

## Step 2

2. 彼は、世界的に有名なシンガーソングライターです。

(彼は) + ( ) + \_\_\_\_\_.

He a singer-song writer.

a, he, is, singer-song writer, world-famous

## Step 3

3. バンクスさんは、園芸植物とガーデニングに精通している。

( ) + (いる) + \_\_\_\_\_ + 園芸植物とガーデニングに.

and, familiar, gardening, garden plants, is, Mr. Banks, with

4. メアリーはいつも、年配の人たちに親切です。

(メアリーは) + ( ) + 親切な + \_\_\_\_\_.  
↑  
いつも

always, is, kind, Mary, the elderly, to

5. 彼女は、言語学の分野ではたいへん著名な人です。

(彼女は) + ( ) + \_\_\_\_\_ + \_\_\_\_\_.

a, field, in, is, linguistics, of, person, prominent, she, the, very

## 練習問題 3 (基本文 3 を用いて)

Track 5

空所に日本語の語句を記入して英語の文構造を考え、さらに与えられている単語を並べかえて、日本語の文を英語に直しましょう。

例 彼らはしばしば、チェスをする。

⇒ (彼らは) + (する) + チェスを.  
(S) (V) ↑ (O)  
しばしば

→ They often play chess.

(S) (V) (O)  
[ chess, often, play, they ]

## Step 1

1. ルーシーは時々、推理小説を読む。

( ) + (読む) + \_\_\_\_\_.  
(S) (V) ↑ (O)  
時々

sometimes a detective story.

a, detective story, Lucy, reads, sometimes

## Step 2

2. トムは、彼のトーストにバターを塗った。

( ) + (塗った) + \_\_\_\_\_ + 彼のトーストに.

Tom some toast.

butter, his, on, some, spread, toast, Tom

### Step 3

3. 私は昨日、その通りでクラスメイトに会った。

( ) + ( ) + \_\_\_\_\_ + その通りで + 昨日.

classmate, I, met, my, on, street, the, yesterday

4. そのコーヒーショップは、週末には大繁盛する。

( ) + (持つ) + \_\_\_\_\_ + \_\_\_\_\_.

a, business, coffee shop, has, lot, of, on, the, weekends

5. その強い風が、運動場を横切ってほこりを吹きつけた。

( ) + (吹きつけた) + \_\_\_\_\_ + \_\_\_\_\_.

across, blew, dust, playground, strong, the, the, wind

### 練習問題 4 (基本文 4 を用いて)

Track 6

空所に日本語の語句を記入して英語の文構造を考え、さらに与えられている単語を並べかえて、日本語の文を英語に直しましょう。

**例** ロバートは、彼の息子にグローブを与えた。

⇒ (ロバートは) + (与えた) + 彼の息子に + グローブを.  
(S) (V) (IO) (DO)

→ Robert gave his son a glove.

(S) (V) (IO) (DO)

[ a, gave, glove, his, Robert, son ]

### Step 1

1. ジョンは、私たちに不思議な話をしてくれた。

( ) + (話した) + 私たちに + \_\_\_\_\_.  
(S) (V) (IO) (DO)

John us a story.  
a, John, mysterious, story, told, us

### Step 2

2. 彼は、彼の花の切手のコレクションを私に見せてくれた。

( ) + (見せた) + \_\_\_\_\_ + 彼のコレクションを.  
↑  
\_\_\_\_\_

He of flower stamps.  
collection, flower, he, his, me, of, showed, stamps

### Step 3

3. ステラは、彼女のボーイフレンドのスティーブに手袋をあげた。

( ) + ( ) + 彼女のボーイフレンドのスティーブに + \_\_\_\_\_.  
\_\_\_\_\_

a, boyfriend, gave, gloves, her, of, pair, Stella, Steve

4. このガイドブックは、その国についての必要な情報を私たちに与えてくれる。

( ) + (与えてくれる) + \_\_\_\_\_ + \_\_\_\_\_.  
↑  
\_\_\_\_\_

about, country, gives, guidebook, information, necessary, the, this, us

5. 私の父は、出版社でのアルバイトの仕事を私に見つけてくれた。  
( ) + ( ) + 私に + \_\_\_\_\_  
↑  
出版社での

a, a, at, father, found, me, my, part-time job, publishing company

## 練習問題 5 (基本文 5 を用いて)

Track 7

空所に日本語の語句を記入して英語の文構造を考え、さらに与えられている単語を並べかえて、日本語の文を英語に直しましょう。

**例1** そのニュースを聞いて、私たちは悲しくなった。  
(そのニュースは、私たちを悲しくした。)  
⇒ (そのニュースは) + (した) + 私たちを + 悲しく  
(S) (V) (O) (C)

→ The news made us sad  
(S) (V) (O) (C)  
[ made, news, sad, the, us ]

**例2** 彼らは、彼女をベッキーと呼ぶ。  
⇒ (彼らは) + (呼ぶ) + 彼女を + ベッキーと  
(S) (V) (O) (C)

→ They call her Becky  
(S) (V) (O) (C)  
[ Becky, call, her, they ]

## Step 2

2. 彼らは彼らの娘に、彼女の祖母の名前を取って、シンシアと名前をついた。

( ) + ( ) + \_\_\_\_\_ + シンシアと  
+ 彼女の祖母の名前を取って.

They named her grandmother.  
after, Cynthia, daughter, grandmother, her, named, their, they

### Step 3

3. アイルランドの人々は、この植物をシャムロックと呼ぶ。

(アイルランドの人々は) + ( ) + \_\_\_\_\_ + \_\_\_\_\_.

a, call, Irish, people, plant, shamrock, the, this

4. その商社は、その有能な人をセールス・マネージャーにした。

( ) + (した) + \_\_\_\_\_ + \_\_\_\_\_

capable, made, person, sales manager, that, the, trading company

5. 彼が無事に到着したという知らせを聞いて、私たちはひじょうにうれしかった。

＜彼が無事に到着したという知らせは、私たちをひじょうにうれしくする。+（　　）+（　　）+\_\_\_\_\_+うれしく。  
↑  
彼の無事な到着のひじょうい

arrival, happy, his, made, news, of, safe, the, us, very

## Step 1

1. 私たちみんなは、あの少年をキムと、愛称で呼んだ

(私たちみんなは) + (愛称で呼んだ) + \_\_\_\_\_ + \_\_\_\_\_  
(S) (V) (O) (C)

We all Kim  
all, boy, Kim, nicknamed, that, we